

新しい入学者選抜制度の検討について

◆ これまでの諮問会における審議事項（2/24、5/31）

● 解決すべき課題

- 入試期間の長期化・早期化による弊害
 - ・ 受検生の心理的負担の持続
 - ・ 中学校や高校における教育活動への影響
- 学校ごとの選抜方法における基準の明確化

○ 継承すべき事項

- 学校ごとの検査方法を実施可能
- 受検生を様々な観点から評価する

検討の方向性

- ✓ 2回に分けて実施している入試を1回に集約すること
- ✓ すべての受検生に県統一の学力検査を課すこと
- ✓ 学校ごとの検査方法も工夫できるようにすること
- ✓ 明瞭性・公平性の観点からできるだけシンプルな制度とすること

◆ 主な検討事項

- ▶ 2回の入試を1回に集約する制度について
 - 全体の仕組み

 - 選抜方法

- ▶ その他